

令和6年度赤磐市研究指定校園 授業公開

令和6年11月29日赤磐市立城南小学校

11月29日に城南小学校で「赤磐市研究指定校園補助事業」に係る授業公開が行われました。

城南小学校の校内研究のテーマ

自分の考えをもち、伝え合い深め合う児童の育成

3年生 社会科

「タイムスリップ!吉井のヒミツを探せ!!」

越智幸枝 教諭



キーワード
資料提示の工夫
「ずれ」と「関連付け」

3年生は社会科「タイムスリップ!吉井のヒミツを探せ!!」で、「わたしたちの吉井は、昔どんな地域で、どのように変わっていったのだろう」という学習課題を立て、地図などの資料から読み取れることをもとに、課題解決に取り組んでいました。

始めに**大型テレビに映し出された地図**を見た子どもたちが、すぐに「え?変わった?」「何かちがう!!」「神社の近くに店が増えとる」など反応していました。前時に学習した150年前の地図と60年前の**地図の違い(ずれ)**に注目して、なぜ町並みが変わったのだろうという**問いをもつ**ことができていました。

また、隠れていた地図の一部を**テレビモニターに順々に映して**いたり、川の部分に一緒に色を塗ったりする活動を取り入れることで、地図を読み取る際に**前時の地図との違い(ずれ)に気づきやすい工夫**がされていて、どの子も意欲的に地図から見つけたものを発表することにつながっていました。

後半には、150年前と60年前では別の所に店が多くなっているのはなぜかを話し合いました。船着き場がなくなり、駅ができたことを**動画を使って知らせ**、どこに駅ができたと思うか、**前時に学習**した人や物が集まる船着き場の周りに店が多かったことと**関連付け**ながら、それぞれに地図を指さし駅の場所を予想して理由を話し合っていました。

既習事項との「ずれ」や「関連付け」が生まれるような資料提示の工夫によって、問いをもち、伝えあい、深めようとする姿が見られた授業でした。

6年生 体育科

「キャッチバレーボール」

竹中一雄 教諭



キーワード
地域人材の活用
環境構成
単元構成

6年生は体育で「キャッチバレーボール」を行いました。バレーボールのおもしろさを子ども達がしっかりと味わうことができるように考えられた簡易化されたバレーボールです。

この単元には、バレーボールを専門で活動している**大学生数名がボランティア**として関わっていただきました。

専門的に競技を行っている学生は子どもにとって**あこがれの存在**です。学生からの的確なアドバイスを真剣に聞き、実践しようとしたり、学生の「すごい!」「ナイス!」などといった言葉に対して喜びを体いっぱい表現したりと子ども達のとても前向きな姿が見られました。

また、授業では、誰もが取り組みやすい場の設定やルール工夫、チーム構成がなされるなど、**環境を通した支援**が適切に行われ運動に親しむことができていました。

単元構成では、バレーボールの捕球、攻撃、組立てのそれぞれの局面に自然と児童の意識が向うように工夫がなされ、「どうすれば〇〇ができるか」という問いに対して、**子ども達が対話を通して自ら課題解決に向かう展開**となっていました。

授業全体を通して、授業者の先生自身がバレーを楽しんでいる子どもの様子、課題解決に向かいいきいきとした子どもの姿を見取りながら体育の授業を楽しんでいるといった、参観している方もうれしく、楽しくなる授業でした。

子ども達が自ら学びに向かうためのヒントがとても多く詰め込まれた授業だったと思います。

城南小学校は2年間、社会科と体育科を中心として研究を進めてくださいました。しかし、上記のような成果の中には、他の教科領域についても汎用的に用いることのできることも、とても多く見られます。研究を通して得た学びをもとに、さらに城南小学校の子ども達の笑顔が広がっていくことを楽しみにしています。素敵な授業の公開をありがとうございました。